



Answer

始めたサッカーの練習に行き渋る5歳の息子

続けるか、やめるか、親はどう判断すれば？

習い事は小さな「できた」ことを褒め、友達と比較しないことが大切です。その前に、子供が自分の意思や感情をきちんと表現しているかどうか、見極める必要があります。

■「楽しい」を基本に

小さいうちは、親の言葉がけが子供のやる気に影響を与えます。習い始めの頃なり、「今日はどんなだった」「お母さんにも教えて」と関心を持ち、小さなことでも「できた」ことを褒めてみましょう。

幼児の習い事は「楽しい」が基本なので、これまでの自分と

Question 1

5歳の長男がサッカー教室に行き渋ります。虫や図鑑を見ているのが好きな子ですが、本人がやりたいと言いつつ、運動の苦手意識が少

しでもなくなればと思い始めました。渋ってもこのまま続けさせるか、やめさせるか、どう判断したらいいですか。
(30代後半・母親)

比べて成長したことを親子で喜ぶたいものです。

もし子供が「やめたい」と言い出したなら、あれこれ工夫してがんばらせたりするでしょう。けれど、あまり行き渋るようなら、ちよつと立ち止まってみましょう。

■親の意向を汲む子が多い

「〜したい」という自分の気持ちを日頃から十分、言っている子供には強く言ってもいいのですが、「手のかからない子」には、子供が自分の意思や感情を十分に表現できているか配慮が必要です。

家庭では親の言うことをよくきいている子供たちが、親から離れて子供キャンプなどに参加すると、わがままになることがあります。よく聞いてみると「塾に行きたくないけど、ママが私のためと言うので、がんばって行っている」。最近では親の意向をくみ取って動いている子供が案外、多いのです。

親の「コントロール」がきくのは小学生まで。思春期になって荒れたり、内にこもったりするのは、たいてい手のかからない「良い子」です。

子供の苦手意識を少しでもなくしたいというのも親心だと思いますが、「子供の気持ちより、親の意思のほうが優先しているかもしれない」と考えてみる必要もあるかもしれませんね。